

対人スキルの柱14

対エミアブルタイプの正しい傾聴法

●エミアブルタイプ (温和型 / 協調派)

- ・ 親しみやすい
- ・ 慎重で穏やかな性格
- ・ 平和主義



■著作権について本冊子と表記は、著作権法で保護されている著作物です。本冊子の著作権は、発行者にあります。本冊子の使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

■使用許諾契約書本契約は、本冊子を入手した個人・法人(以下、甲と称す)と発行者(以下、乙と称す)との間で合意した契約です。本冊子を甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

1. 本契約の目的: 乙が著作権を有する本冊子に含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。
2. 禁止事項: 本冊子に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本冊子から得た情報を、乙の書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ本冊子に含まれる情報を使用できるものとします。
3. 損害賠償: 甲が本契約の第2条に違反し、乙に損害が生じた場合、甲は乙に対し、違約金が発生する場合がございますのでご注意ください。
4. 契約の解除: 甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することができるものとします。
5. 責任の範囲: 本冊子の情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても乙は一切の責任を負いません。

今回はエミアブルタイプに対する
正しい傾聴法を解説していきます！

ではさっそくいきましょう！

◎オーバーリアクションは避ける

エミアブルタイプは
自分ひとりに注目が集まるのを嫌うので

落ち着いてリラックスした態度で
聞くのがオススメです。

極端に前のめりな姿勢だったり
大げさなリアクションをされると
かえって話しづらさを与えてしまいます。

僕自身もエミアブルタイプの要素が
かなり強めですが、

ノリと勢いで反応してくるタイプとは
少し話しづらかったりしますね。

静かに聞いてくれる人のほうが
話しやすいなぁと感じることが多いです。

◎ノーリアクションは厳禁

とはいえ静かすぎても今度は

「ちゃんと聞いてくれてるのかな？」

「もしかしてつまらないと思われてる？」

といった不安な気持ちを与えてしまいます。

そうなるとエミアブルタイプは

「なんか変なこと言っちゃったかな…？」

会話どころじゃなくなってしまう。

聞き手や周囲の空気を敏感に察知する

エミアブルタイプだからこそ、

適度なリアクションは大事。

時々目を合わせる、

合間合間でのうなづき、そして

前回お伝えした”表情のミラーリング”

このあたりがエミアブルタイプに対する
傾聴法の最適解と言えます。

このように安心感を与えることが
エミアブルタイプの承認欲求を満たすことに
繋がりますよ。

★まとめ★

◎オーバーリアクションは避ける

▶できるだけ静かに聞いてあげよう

◎適度なリアクションは必要

▶視線、うなづき、表情のミラーリングを駆使して相手に安心感を与えよう